

本資料には、個別工事費などの機微な情報が含まれているため、一部情報については、マスキング処理をしております。

# 「東京中部間連系設備に係る広域系統整備計画」 佐久間東幹線（山線）他増強工事における 工事費の状況について（12～2月発注分）（報告）

2024年 1月 31日  
広域系統整備委員会  
コスト等検証小委員会事務局

- 東京中部間連系設備に係る広域系統整備計画のうち、電源開発NWが事業実施主体である佐久間東幹線（山線）他増強工事については、工事費増額を受けた2023年3月までの検証取りまとめにより、**見直し後の概略工事費を1,430億円**（2023年3月時点）と示したところ。
- しかしながら、他工区はもとより先行工区も更なる精査が必要となることから、**2023年4月以降も継続的にコスト低減の状況について確認する必要がある**とした。
- 第36回本委員会（2023年12月）では、電源開発NWから報告があった2023年6月の台風2号の豪雨被害等に伴う復旧対策による増額についてご確認いただくとともに、12月発注分の請負工事についてご報告した。
- **本日は、前回報告以降の12<sup>※</sup>～2月発注分の請負工事及び資材の内容について確認したのでご報告する。**
- また、第35回本委員会において継続確認としていた増額内容について確認できたことから報告する。

※第36回報告以外の12月発注分

## ■ 佐久間東幹線（山線）他増強工事の工事費増額に関する検証結果について（2023年3月27日）一部抜粋

### 8. 今後の継続的な確認について

一般の検証において、限られた時間の中で一般送配電事業者の協力の下、コスト低減を行ってきた。ただし、先行工区について一定程度のコスト低減を提案したに留まっており、他工区はもとより先行工区も更なる精査が必要となる。

既にこれまでの検討において、一般送配電事業者の知見や確認事項は共有されていることを踏まえれば、まず基本的な対応として、今後のコスト低減策の反映については事業実施主体である電発NW が自ら精査した上で、各一般送配電事業者の協力も仰ぎながら、広域機関にて確認することで本整備計画を進めていくこととしたい。

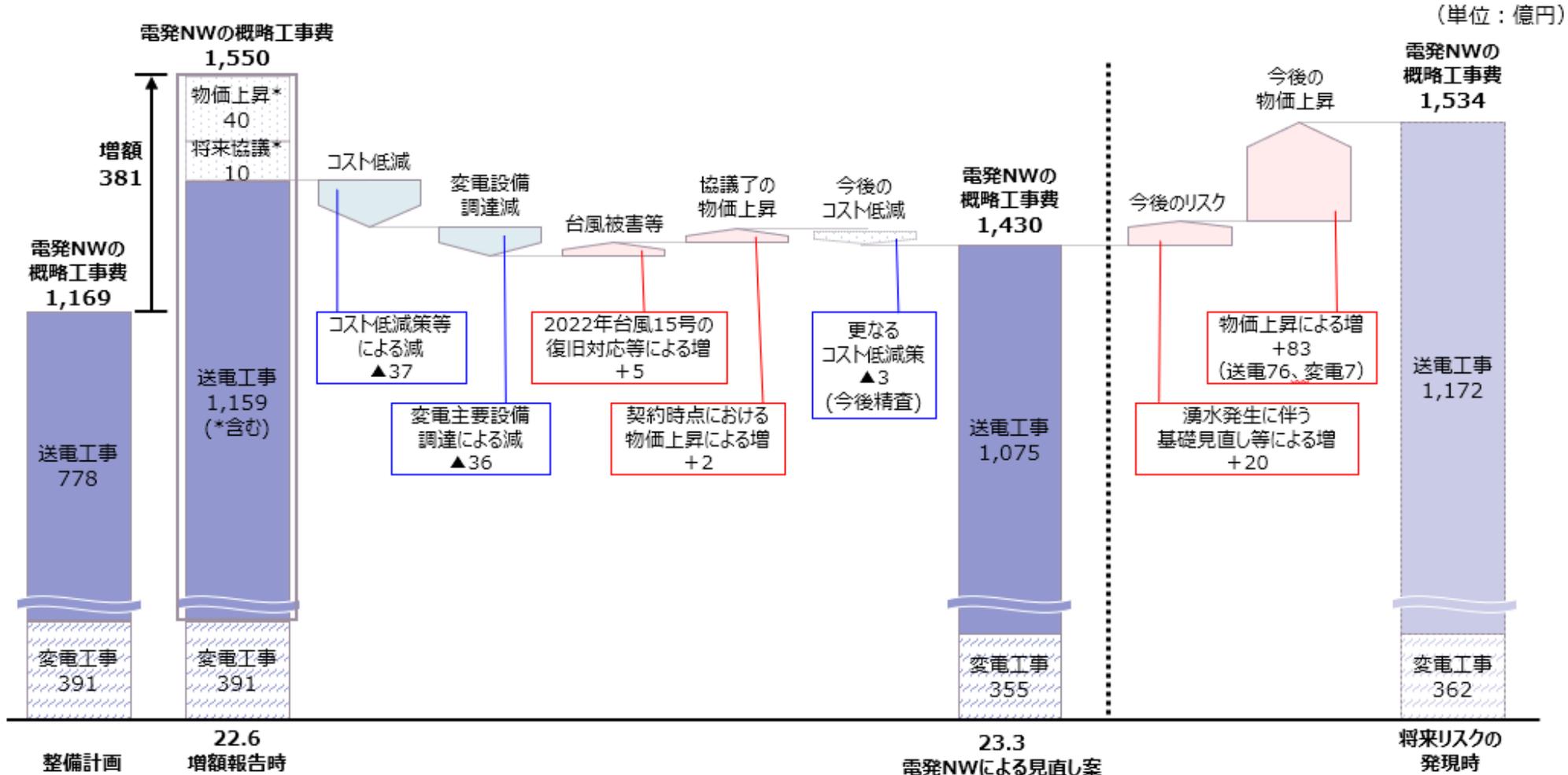
また、今後のコスト低減についても、現地に入る中で現場での工夫の余地がないか、電発NW がしっかり検討する仕組みを構築する必要がある。

なお、今後避けられない工事費増額が発生する可能性もあり、その都度、コスト小委にて審議すれば工事の遅延につながる恐れもある。

既に明示している工事費増額の可能性の中で、例えば保安林解除の手続きにおいて必要な工事を求められる可能性はまだ残っている。このため、**交渉の結果、工事費増額が不可避である場合など、今回の検証で示された将来想定されるコスト増要因が顕在化し、その増額が将来リスク発現時の概算工事費内に収まる場合は、工事の遅延とならないよう必ずしもコスト小委での事前承認までは必須としないものの、工事費増額を把握した時点でまず速やかに広域機関に報告の上、事案に応じて事前又は事後にコスト小委に諮ることとする。**

# (参考) 検証を踏まえた電発NWの概算工事費について (2023年3月時点)

第30回コスト等検証小委員会  
(2023年3月) 資料 3  
検証取りまとめ (案)



※工事費には地内整備分を含む。なお、送電工事は佐久間東幹線（山線）他増強工事、変電工事は新佐久間FC新設工事をいう。  
※単位未満を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。



## 1. 概算工事費について

- 報告①：更なるコスト低減策の反映について
- 報告②：運搬計画変更等の計画見直しによる増について
- 報告③：契約時点における物価上昇による増について

## 2. 継続確認としていた増額内容について

- 佐久間東幹線(山線)他工事地点における運搬方法変更(第36回)
- ██████████ 土留め対策による増額 (第34回)

## 3. コスト低減策の進捗状況報告

- 「コスト低減▲37億円」の達成状況について
- 電源開発NWにおける更なるコスト低減に向けた検討状況

## 4. 確認結果のまとめ























## 1. 概算工事費について

- 報告①：更なるコスト低減策の反映について
- 報告②：運搬計画変更等の計画見直しによる増について
- 報告③：契約時点における物価上昇による増について

## 2. 継続確認としていた増額内容について

- 佐久間東幹線(山線)他工事地点における運搬方法変更(第36回)
- ██████████ 土留め対策による増額 (第34回)

## 3. コスト低減策の進捗状況報告

- 「コスト低減▲37億円」の達成状況について
- 電源開発NWにおける更なるコスト低減に向けた検討状況

## 4. 確認結果のまとめ

継続確認としていた増額内容について

## 佐久間東幹線(山線)他工事地点における運搬方法変更

継続確認としていた増額内容について

土留め対策による増額

(参考)

土留め対策による増額

第34回広域系統整備委員会  
コスト等検証小委員会 資料4 抜粋

20





## 1. 概算工事費について

- 報告①：更なるコスト低減策の反映について
- 報告②：運搬計画変更等の計画見直しによる増について
- 報告③：契約時点における物価上昇による増について

## 2. 継続確認としていた増額内容について

- 佐久間東幹線(山線)他工事地点における運搬方法変更(第36回)
- ██████████ 土留め対策による増額 (第34回)

## 3. コスト低減策の進捗状況報告

- 「コスト低減▲37億円」の達成状況について
- 電源開発NWにおける更なるコスト低減に向けた検討状況

## 4. 確認結果のまとめ







## 1. 概算工事費について

- 報告①：更なるコスト低減策の反映について
- 報告②：運搬計画変更等の計画見直しによる増について
- 報告③：契約時点における物価上昇による増について

## 2. 継続確認としていた増額内容について

- 佐久間東幹線(山線)他工事地点における運搬方法変更(第36回)
- ██████████ 土留め対策による増額 (第34回)

## 3. コスト低減策の進捗状況報告

- 「コスト低減▲37億円」の達成状況について
- 電源開発NWにおける更なるコスト低減に向けた検討状況

## 4. 確認結果のまとめ

<概算工事費について>

- 本日は、昨年3月の検証取りまとめ及び前回本委員会までの報告を踏まえ、電源開発NWから受領した12～2月発注分の報告内容について確認を行った結果を報告した。
- その結果、今回の**電源NWの概算工事費は** [ ] **億円**となり、検証取りまとめ時の1,430億円から [ ] 億円の増加となった。
- 今回の報告②「運搬計画変更等の計画見直しによる増」については、詳細な内容について電発NWから説明を受けていないことから、内容を確認し、次回以降の本委員会にて確認した結果を報告することとする。

<継続確認としていた増額内容について>

- 佐久間東幹線（山線）他工事地点における**運搬方法変更内容については、適当であることを確認した。**
- [ ] 工区の土留め対策については、**改めて電発NWに詳細な内容を確認したところ、電発NWが工事期間中における安全対策として実施するものであり、設置した仮設道路や土留め対策等については、今回の借用期間終了までに撤去する。**資材置場の借用期間完了後には撤去する設備であることも踏まえてコスト低減方策を検討した結果、一部仕様の見直しをすることにより [ ] 億円低減できる見込みを確認した。

<コスト低減策の進捗状況報告>

- **コスト低減策▲37億円に対する目標達成率が96%となり、更なるコスト低減策▲3億円に対する目標達成率は100%達成**であることを確認した。
- 電源開発NWは現在もコスト低減策の検討・反映を進めている状況であり、その進捗等については今後も本委員会にて確認していくとともに、**引き続き、電源開発NWに対してコスト低減に向けた不断の努力を求めたい。**